モンゴル

2018 年度　外部事後評価報告書

海外投融資「ツェツィー風力発電事業」

外部評価者：一般財団法人 国際開発機構　藤田伸子

有限責任 あずさ監査法人　向川美樹・濱田正章

１．事業の概要

事業位置図

ツェツィー風力発電所

１.１　事業概要

本事業は、モンゴル南部のウムヌゴビ県ツォグトツェツィー郡において、Clean Energy Asia LCC（以下、「CEA」）が建設・運営する風力発電所（出力合計 50MW）が、国家給電指令所（National Dispatching Center）との長期売電契約に基づき電力供給を行なうことにより、モンゴルにおける電力受給逼迫の緩和、供給の安定性の改善及び電力発電源の多様化並びに再生可能エネルギーの利用促進を図り、もって同国の経済社会開発に寄与することを目的に実施された。2016 年 6 月に JICA は CEA に融資（プロジェクトファイナンス）する契約を締結した。

２．調査の概要

２.１　外部評価者

藤田伸子（一般財団法人 国際開発機構）

向川美樹・濱田正章（有限責任 あずさ監査法人）

２.２　調査期間

今回の事後評価にあたっては、以下のとおり調査を実施した。

調査期間：2018 年 12 月～2020 年 1 月

現地調査：2019 年 4 月 3 日～4 月 17 日、2019 年 6 月 19 日～6 月 25 日

２.３　評価の制約

特になし。

３．結論

本事業は、ツェツィー風力発電所の建設・運営を行い、国家給電指令所との長期売電契約に基づき電力供給を行なうことにより、モンゴルにおける電力受給逼迫の緩和、供給の安定性の改善、再生可能エネルギーの利用促進等を目的として実施された。

本事業はモンゴルの開発政策、開発ニーズ、日本の援助政策と整合している。有効性・インパクトの評価においては運用・効果指標の達成や、本事業が需要の増加する中央電力システムへの電力の供給源となっており、二酸化炭素の削減効果を持つことも確認された。住民や環境への負の影響は見られない。また、事業費と事業期間は計画内に収まった。持続性については、財務面に若干の懸念があるものの、体制・技術面の持続性、維持管理状況の面では問題は見られない。

以　上

・本評価結果の位置づけ

本報告書は、より客観性のある立場で評価を実施するために、外部評価者に委託した結果を取り纏めたものです。本報告書に示されているさまざまな見解・提言等は必ずしも国際協力機構の統一的な公式見解ではありません。本報告書は、国際協力機構又は外部評価者による法務、会計、税務その他の専門的な助言又はサービスの提供を意図しているものではありません。国際協力機構又は外部評価者は、本報告書に掲載されている全ての情報について完全性、正確性、適時性を保証するものではなく、情報の誤り、欠落、掲載されている情報の使用に起因して生じる結果に対して一切の責任を負わないものとします。いかなる場合にも国際協力機構の役職員及び外部評価者は、本報告書に掲載されている情報に基づいて行われた決定又は採用された措置に関して、いかなる方に対しても一切の責任を負いません。また、外部評価者と国際協力機構あるいは事業実施主体等の見解が異なる部分に関しては、国際協力機構あるいは事業実施主体等のコメントとして評価結果の最後に記載することがあります。本報告書に記載されている内容は、国際協力機構の許可なく、転載できません。